

2024 年度 妻ヶ丘幼稚園 3 学期園内自己評価

ひよこ組

— 3 学期の目標 —

- ◎ したいことや、してほしいことをしぐさや言葉で表現していく
- ◎ 身の回りのことを自分でしようとし、できたことを喜ぶ

— 活動内容 —

作るってたのしいね

(健康な心と体, 自立心, 協同性, 道徳性・規範意識の芽生え)

- ・ これまで保育者と子ども 1 対 1 で行ってきた製作を複数の人数で取り組む。
- ・ 絵を描くと、他の友だちの絵を見てみたり、描いたものを保育者や友だちに見せる瞬間もあった。
- ・ 花紙を準備すると、感触を確かめながら、優しく丸める子もいれば、力を込めてギュッと小さく丸める子も見られた。
- ・ 折り紙ちぎりをやってみると、うまくちぎれず丸めたり、細長い棒のような形になる子もいた。少し切れ目を作ると両手を使いちぎることができ、楽しんでた。



できた！

(自立心, 思考力の芽生え, 言葉による伝え合い, 豊かな感性と表現, 自然との関わり・生命尊重)

- ・ 衣類の着脱に意欲的になり、自分でしようとする子どもが増えたり、食事後の片付け(コップ等を自分で袋に入れる)も最後まで自分でやろうとする姿が見られるようになってきた。できた瞬間はとても嬉しそうな表情で自信へ繋がっている様子だった。
- ・ 個人差はあるが、苦手な食材に挑戦し食べられる子どもも見られ、褒めると周りの子どもたちも影響を受け、完食することもできるようになってきた。
- ・ 玩具の貸し借りも言葉が先に出てくるようになってきた。使いたい玩具を具体的に伝えること

には難しさもあったようで、保育者が仲介しながら関わっていった。



— 3 学期の反省 —

- ・ 遊びの中や、食事の時間など子どもたち同士の会話がよく見られるようになり、関わりがさらに深まってきた。
- ・ 3月に入り、礼拝の時間を長くしたが、振り付けを付けながら歌をうたうのが楽しかったようで、約30分ほど座っている日も出てきた。
- ・ うまく言葉で伝わらなかつたり、些細なきっかけで噛みつきや引っ掻きが何度か見られた。個人の見守りを丁寧に行いながら、関わっていった。

— 年間の反省 —

- ・ 絵本が好きな子どもも多く、活動の切り替え時やすき間時間に読み聞かせを多く取り入れていった。一人でも集中して読めるようになったり、本の内容を覚えて遊びの中で楽しむ子どもも見られた。
- ・ 排せつでは、個人差はあるが、感覚が分かるようになり保育者に伝えられる子どもや、衣類の着脱も自分でしようとする子どもが増えていった。トイレに行く機会も少しずつ取り入れていったが、保育室内におまるを設置したり、自分で排泄ができる環境設定があると、さらにスムーズなトイレトレーニングに繋がるので、今後取り入れていきたい。
- ・ 戸外あそびが中心の保育を行ってきたが、保育室内の遊びの環境設定を十分に行うことができず、走り始めてぶつかってしまったり、落ち着いて遊べる環境設定に改善が必要だと感じた。